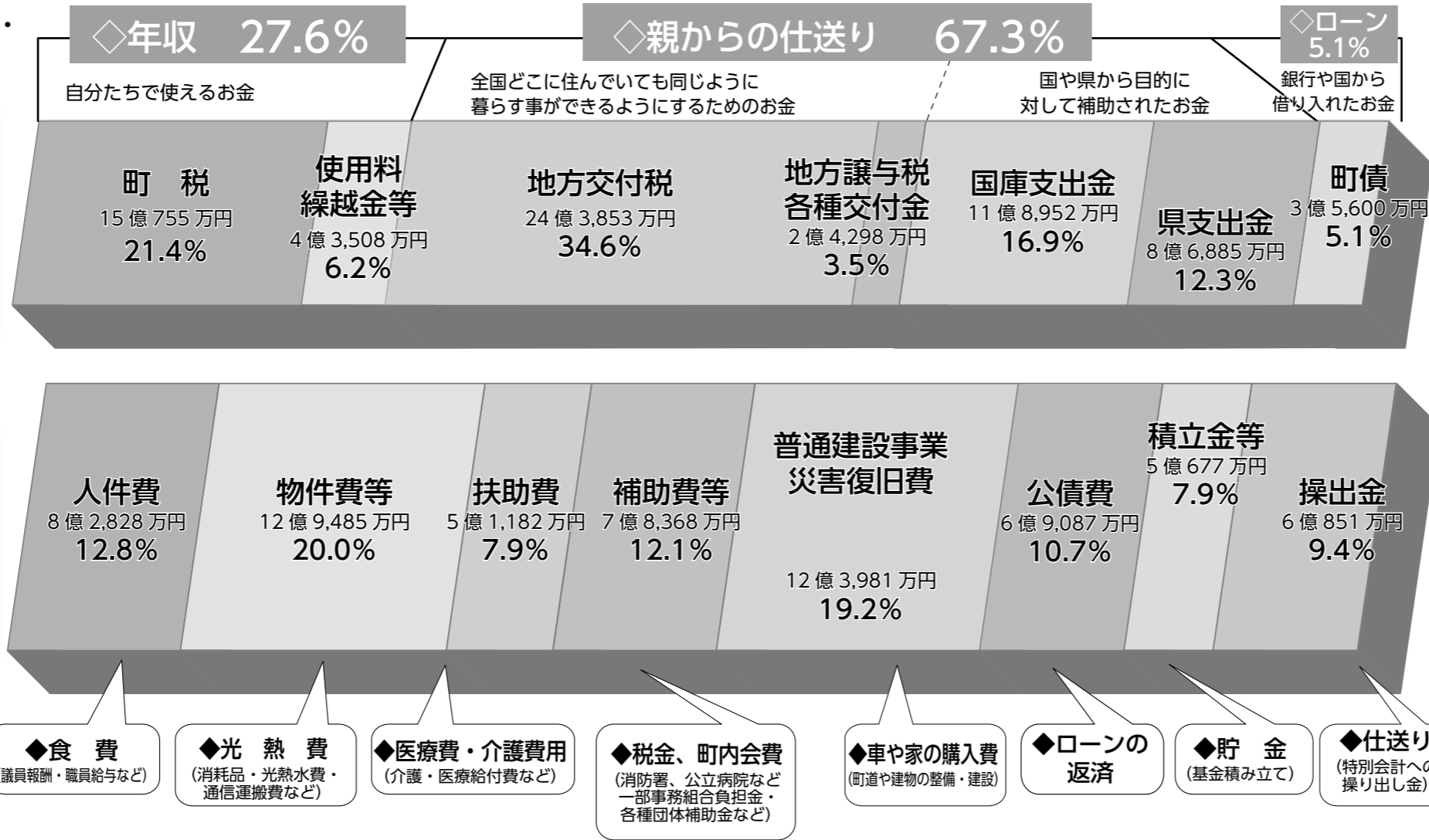


決算報告

平成23年度決算が鏡石町議会9月定例会で承認されました。
 今月号では、町がどのようなお金をどのように使ったのかを、皆さんのご家庭の家計簿と同じような見方で、町の財政の現状をお知らせします。

過去最大規模の決算
 町の平成23年度各会計の決算がまとまりました。社会保障費関係の増加等により地方財政は依然として厳しい状況にあります。先順位に基づき徹底した事業選択を行い、財源の計画的、重点的な配分に努めました。しかし、東日本大震災に要する災害復旧事業費の経費が23億264万円と増加したた

め、一般会計の決算額は、歳入70億3,851万円(前年比50・0%増)、歳出64億6,459万円(前年比41・5%増)となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は3億3,995万円(対前年3・0%減)となり、平成23年度末の起債残高は50億9,403万円(対前年2億3,886万円減)となりました。償還額、残高とも今後引き続き減少してきますが、今後の借入等、引き続き計画的な財政運営を迫られています。
 一般会計の歳入は、東日本大震災関連の国・県の補助金や地方交付税の増により、大幅な増額となりました。歳出の主なものは、災害復旧費などの東日本大震災関連のものとなっています。



家計にたとえると…

歳入

70億3,851万円

平成22年度 46億9,302万円
前年対比 23億4,549万円増

歳出

64億6,459万円

平成22年度 45億6,907万円
前年対比 18億9,552万円増

次年度繰越金

3億3,995万円

(歳入-歳出=5億7,392万円から次年度繰り越し財源2億3,397万円を差し引いた額)

- ◆食費 (議員報酬・職員給与など)
- ◆光熱費 (消耗品・光熱水費・通信運搬費など)
- ◆医療費・介護費用 (介護・医療給付費など)
- ◆税金、町内会費 (消防署、公立病院など一部事務組合負担金・各種団体補助金など)
- ◆車や家の購入費 (町道や建物の整備・建設)
- ◆ローンの返済
- ◆貯金 (基金積み立て)
- ◆仕送り (特別会計への繰り出し金)

◎平成23年度決算に基づき算定された町の健全化判断比率は、全ての指標が基準を下回る結果となりました。

指標	町健全化判断比率	(参考) 早期健全化基準
①実質赤字比率	—	15.0%
②連結実績赤字比率	—	20.0%
③実質公債費比率	18.5%	25.0%
④将来負担比率	119.2%	350.0%

①実質赤字比率 一般会計等の実質収支が黒字で、実質赤字比率は算定されませんでした。
 ②連結実績赤字比率 特別会計や公営企業など全ての会計の赤字や黒字を合算して、町全体としての赤字の程度を指標化し、全会計の財政運営の深刻度を示すのがこの数値です。
 ③実質公債費比率 町の借入金に係る元金および利息の支払いに係る経費の合計額が標準財政規模(人口、面積などから算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対してどれくらいの比率になっているかをみるもので、3年間の平均で算定されます。
 ④将来負担比率 町の借金や将来支払わなければならない負担金などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す数値です。
 町では、前年に比べ41ポイント改善され、早期健全化基準を下回っています。

①実質赤字比率 一般会計等の赤字の程度を指標化し財政運営の深刻度を示すのがこの数値です。
 ②連結実績赤字比率 特別会計や公営企業など全ての会計の赤字や黒字を合算して、町全体としての赤字の程度を指標化し、全会計の財政運営の深刻度を示すのがこの数値です。
 ③実質公債費比率 町の借入金に係る元金および利息の支払いに係る経費の合計額が標準財政規模(人口、面積などから算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対してどれくらいの比率になっているかをみるもので、3年間の平均で算定されます。
 ④将来負担比率 町の借金や将来支払わなければならない負担金などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す数値です。
 町では、前年に比べ1・1ポイント改善され、早期健全化基準を下回っています。

鏡石町の財政健全化判断比率等の公表

各会計決算状況 単位:万円

会計区分	歳入	歳出
一般会計	70億3,851	64億6,459
国民健康保険特別会計	15億2,651	14億197
後期高齢者医療特別会計	7,610	7,588
介護保険特別会計	7億3,125	6億9,754
土地取得事業特別会計	371	371
工業団地事業特別会計	1億6,587	1億6,355
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	8,476	8,380
育英資金貸付費特別会計	1,356	1,221
公共下水道事業特別会計	7億9,959	7億9,281
農業集落排水事業特別会計	7,590	7,499
小計	105億1,576	97億7,105
上水道事業会計	収益的	2億9,014
	資本的	5,511
	計	3億4,525
合計	108億6,100	101億7,716